



第2部

基本構想

入善町の目指すべき姿

基本構想

BASIC CONCEPT

I 基本理念 ～まちづくりの基盤～

「入善町は3つの恵みから成り立っています」

水が支える自然と文化



恵みの源泉である黒部川の湧水が、先人から受け継いだ豊かな自然環境や伝統・文化を支え、ふるさとへの愛着や誇りを後世へと確実につないでいきます。

大地が築く暮らしと産業



黒部川扇状地の大いなる大地が、安全な暮らしと魅力ある産業を築き上げ、居心地の良い、実りのある生活を創出していきます。

人が育む未来と安心



様々な出会いや交流と、そこに生まれる人のつながりが、未来を担う人と支えあう心を育み、安心と思いやりのある社会を構築していきます。

II 将来像 ～目指す将来の姿と合言葉～

「入善町が目指していくまちの姿です」

黒部川の水の流れが育む、うるおいの大地「黒部川扇状地」は、私たちの暮らしを豊かにするかけがえないふるさとです。

水の恵みを得るために、先人たちは多くの困難に向き合い、克服するための様々な知恵を生み出してきました。私たちの暮らしの中になくてはならない水を守り、活かしてきたことで、今の入善町の恵みがあるのです。

先人たちから受け継いできた歴史や経験、知恵が詰まった黒部川扇状地を、貴重な財産としてさらに磨き上げ、未来に引き継いでいくことが入善町のまちづくりの基本です。



まちづくり絵画作品 最優秀賞受賞作品

「30年後の学校」飯野小学校4年 瀧本 麦さん

本格的な人口減少時代を迎える一方で、地方創生や地方回帰の機運が高まり、地方での安心とゆとりのある暮らしが注目されています。

入善町には誰もがあこがれる、魅力ある資源があふれています。町の発展を支えてきた「水」と「大地」は、すべての「人」にとって普遍的な魅力となる可能性に満ちています。

入善町に関わるすべての人が、町への愛情と自信にあふれ、お互いが活躍し、つながり、支え合うことで、人口減少の時代を克服し、豊かな暮らしと新たな物語を創造していきます。

長い年月をかけて育まれてきた扇状地に湧き上がる水、四季が織り成す豊かな自然と人々の営みがまちに彩りを与えます。総合計画では、入善町とつながるすべての人の夢と笑顔があふれるまちとなるよう思いを込めて、将来像を次のとおり定めます。

「扇状地に 夢と笑顔があふれるまち 入善」